



タイ経済最新情報

2024 年 12 月号

10 月のタイ経済は前月より改善傾向

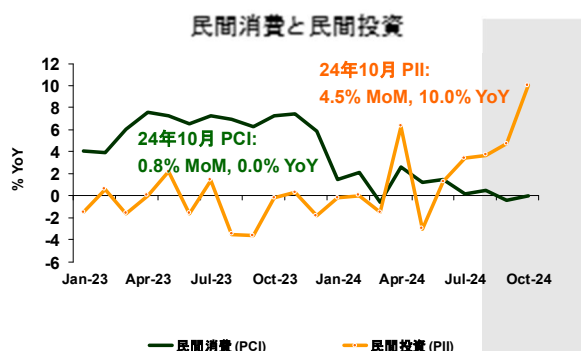
要点

- 2024 年 10 月のタイ経済は引き続き改善傾向にあります。民間投資、輸出、および観光業の伸びが加速しました。しかし、工業生産の回復テンポがまだ落ち込んでいます。
- 2024 年 11 月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比 0.95% 上昇し、前月から加速しました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比 0.80% の上昇と、前月とほぼ同水準となっています。
- カシコンリサーチセンターは、2025 年のタイの非アルコール飲料の国内売上高が前年比 3.3% 増の 2,290 億バーツになると予測します。
- 2025 年の国内売上高は増加するものの、2022~24 年平均の 4.7% 増から減速する見通しです。消費者の購買力の回復が遅れ、生活費の高騰の影響を受ける見込みです。観光業の拡大により、2025 年の国内売上高に占める外国人旅行者の割合は、2023 年の 6% から 8% に拡大すると予測します。

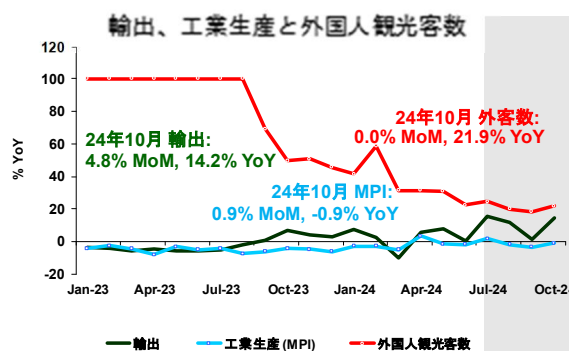
タイ経済の動向

□ 2024 年 10 月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2024年10月の重要な経済指標によると、タイ経済は前月より改善しました。とりわけ、民間投資、輸出、および観光業が改善しています。



出所: BoT, Ministry of Industry, Ministry of Tourism and Sports



備考: YoY = 前年比; MoM = 前月比

10月の民間消費は前年同月比0.0%で、前月と比べ横ばいでした。1万バーツ給付金の支給開始が後押ししています。北部の洪水の心配が和らいだことで、消費者心理も回復しました。

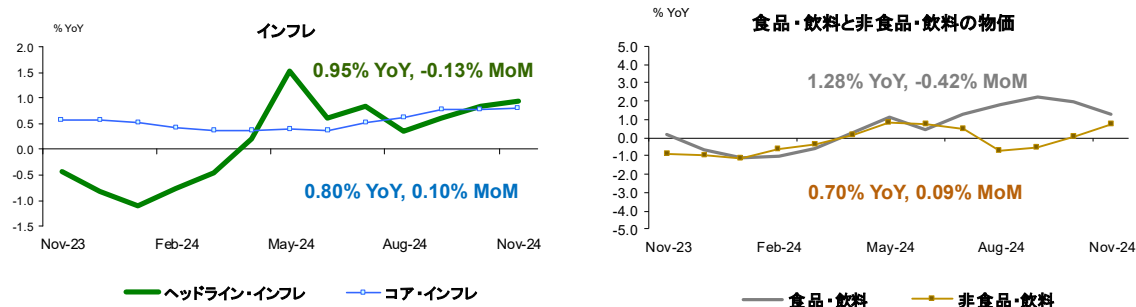
一方で、民間投資は前年同月比10.0%増になりました。主要分野全てで増加しています。タイ国内での機械や設備の販売は前月に引き続き拡大し、商用車の販売も増えました。建築資材の販売が伸び、建設可能な土地が拡大したことから建設投資も増えています。

บริการทุกระดับประทับใจ

10月の輸出は、前年同月比14.2%増の269億米ドルとなりました。北米向けの変圧器の輸出が増えたほか、東南アジア諸国連合向けのハードディスクドライブもけん引しました。

工業生産に関しては、前年同月比0.9%縮小しました。エアコンなど家電の生産が好調だったものの、石油製品は在庫の増加により生産が落ち込んでいます。また、電子回路も輸出減を受け、生産が振るいませんでした。

一方で、外国人観光客の伸びが前年同月比21.9%増と、前月に比べ加速しました。中国人とマレーシア人が減った一方、韓国人とシンガポール人観光客が増えています。



出所: MoC, KResearch

商務省が発表した2024年11月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.95%上昇し、前月から加速しました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.80%増と、前月とほぼ同水準となっています。

食品・飲料部門は1.28%の上昇となりました。「卵・乳製品」が0.49%、「果実・野菜」が0.45%それぞれ下落したものの、そのほかの項目は上昇しています。特に「非アルコール」が3.26%と上げ幅が大きくなっています。一方で、非食品・飲料部門は0.70%上昇となりました。

2025年のタイの非アルコール飲料の国内販売額が3.3%増となる見込み

カシコンリサーチセンターは、2025年のタイの非アルコール飲料の国内売上高が前年比3.3%増の2,290億バーツになると予測します。

タイの非アルコール飲料の売上高は、国内向けが8割、輸出が2割を占めます。2025年の国内売上高は増加するものの、2022～24年平均の4.7%増から減速する見通しです。消費者の購買力の回復が遅れ、生活費の高騰の影響を受ける見込みです。観光業の拡大により、2025年の国内売上高に占める外国人旅行者の割合は、2023年の6%から8%に拡大すると予測します。

2025年の国内売上高を種類別に見ると、炭酸飲料が34%、飲料水が21%、エネルギー飲料が10%、茶飲料が8%、機能性飲料が7%を占める見通しです。

炭酸と飲料水の成長率が各2.6%、4.8%なのに対し、機能性飲料は7%増加する見込みです。消費者の健康志向の高まりが、成長を後押しします。

監修: カシコンリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。